



ぐるだいニュース 第67号

日本グループ・ダイナミクス学会 会報

2025年夏号（7月発行）

発行所：大阪大学 三浦麻子研究室
E-mail：sec-general@groupdynamics.gr.jp
編集担当：古谷嘉一郎(関西大学)・万静怡(関西大学)

目次

1. 会長就任のご挨拶.....	2
2. 会長退任のご挨拶.....	3
3. 第71回大会開催のご挨拶.....	4
4. 国際化支援.....	6
5. 機関誌「実験社会心理学研究」について.....	7
6. 事務局からのお知らせ.....	8
7. 学会関係連絡先.....	10

1. 会長就任のご挨拶

新会長 三浦 麻子（大阪大学）

会員の皆さま

このたび、日本グループ・ダイナミックス学会の会長を拝命いたしました三浦麻子です。伝統ある本学会の運営を担わせていただくこととなり、責任の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いでおります。これからの2年間、会員の皆さまとともに、本学会が今後さらに実りある学びと交流の場となるよう、力を尽くしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



本学会の創設者であり、初代会長を務められた三隅二不二先生は、グループ・ダイナミックスという学問領域を日本に根づかせ、理論と実践を往還する研究を通じて、学術と社会をつなぐ知のあり方を切り拓かれました。その先見的なご業績は、本学会の精神的な礎として、今も確かなかたちで受け継がれています。

三隅先生はまた、大阪大学大学院人間科学研究科の名誉教授であり、私が現在教授を務めております社会心理学研究分野の初代教授でもあります。私自身、この研究室の出身ですが、先生と直接お会いする機会はありませんでした。ただ、先生が築かれた学問的基盤の上に、私たちの研究と教育が今日も営まれていることを思うと、その重みと意義をあらためて感じさせられます。

グループ・ダイナミックスは、人と人との関係性や、集団の中に生じる力学に注目する学問です。その視座は、私たちが構成する「学会」という集団のあり方を見つめるうえでも、大きな示唆を与えてくれます。私はこの2年間、会員の皆さま一人ひとりの知見と経験が活発に交流し、響き合いながら、学会全体の「集合知」としてかたちづくられていくような運営を心がけてまいります。

本学会が、活発な相互交流を通じて会員の皆さまに新たな刺激をもたらし、それぞれの研究が深まり、その成果を自信をもって共有・公表したいと思えるような場として維持・発展するよう努めてまいります。

今後とも、皆さまのご支援とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2. 会長退任のご挨拶

前会長 坂田桐子（広島大学）

2023年度から会長を務めさせていただき、あっという間に2年間経ちました。頼もしい常任理事・理事の先生方に恵まれ、なんとか無事に務めを終えさせていただきました。



任期中は、まず一般会員の年会費の値下げを行いました。これは、北村前々会長時代に実施された学生会員の会費値下げの流れを汲むものです。機関誌『実験社会心理学研究』では、プレプリント論文の投稿受付を開始しました。また、書評の掲載を始めましたので、誌面がバラエティに富むものになりました。近年は特に Short Note の投稿が増えていることもあり、Short Note Working のメンバーを増員し、多くの先生方に審査にあたっていただくことになりました。お陰様で、掲載論文数は維持できています。積極的にご投稿いただいた会員の皆様と、審査にご尽力いただいた先生方に心より感謝申し上げます。

任期中は、コラボ・リクエスト企画の改革にチャレンジしました。これまで学会大会時に行われていたコラボ・リクエストは、大きな意義のある企画でありながら、研究者とのコラボを求める組織や集団等が学会開催日に参加することが難しいなど、いくつかの困難もありました。研究者と企業やNPO団体等、様々な組織や集団を繋ぐ取り組みがより柔軟な形で行われるように、渉外担当の石井常任理事を座長として、コラボ・リクエスト・ワーキングを設置しました。常任理事外のメンバーとして、正木郁太郎先生と山浦一保先生にも加わっていただき、様々な可能性を検討していただきました。常任理事会メンバーによる超異分野学会への参加や2度の大会でのコラボレーションに関するワークショップを経て、2024年度後半からコラボレーション支援助成を開始することになりました。これは、新たな連携を開始するための必要経費を助成することで、シーズをもつ学会員からニーズをもつ組織や団体、個人へのアクセスの機会を拡張することを狙いとしたものです。会員の皆様の積極的な応募を願っております。

そのほか、学会ウェブページのリニューアル準備や役員選挙時の電子投票システム導入の検討など、常任理事の先生方には、通常業務の確実な遂行だけでなく、新たな改善を積極的に検討・推進していただきました。会長着任時のあいさつ文（ぐるだいニュース63号）では、「会長はサーバント・リーダーシップに徹する」と書きましたが、任期2年間を終えてみれば、その実態は明らかに常任理事会メンバーによる「共有リーダーシップ」でした。会長のリーダーシップなど殆ど必要なく、上記に挙げた成果は相馬事務局長をはじめとする常任理事の先生方のリーダーシップとご尽力の賜物です。心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、この2年間の会員の皆様のご支援・ご協力、誠にありがとうございました。

3. 第71回大会開催のご挨拶

「グループ・ダイナミクス学会大会の歩き方」

第71回大会準備委員長 日比野愛子（弘前大学）

緑が鮮やかに映えるこの頃、会員の皆様にはご健勝のことと存じます。このたび、本学会の第71回大会を弘前大学人文社会科学部・社会心理学研究室にて担当させていただくことになりました。2025年8月21日（木曜日）・8月22日（金曜日）に弘前大学文京町キャンパスにて開催いたします。新しい視点を交えた議論が展開される場となるよう、準備委員一同、万全の体制で皆様をお迎えする所存です。

私が、最初に参加・発表した学会——いわゆる学会デビューをした学会が、グループ・ダイナミクス学会でした。その後、自身が研究テーマとして萌芽的テクノロジーや科学実験室のダイナミクスを扱うこともあり、社会心理学領域にとどまらず、理工系を含むさまざまな学会を覗いてきました。その経験も踏まえてグループ・ダイナミクス学会大会の特色を振り返り、皆様に本大会の楽しみ方（～歩き方）をお伝えできればと思います。

まず、発表形態にバリエーションがあるのが楽しめるところです。口頭発表の中でも、ショート、ロング、Englishの種別があり、それぞれに発表の特長が異なります。例えばロングでは一つの研究発表を詳細に聞けますので、理論や方法論にも踏み込んだ洞察を得ることができます。関心を持つトピックを聞きに行くのが基本とはいえ、普段の学会大会ではあまり出向かないような形態のセッションに足を運ぶことで、特に若手の方には「知」の多様なコミュニケーションを経験できるのがこの学会の良さの一つではないでしょうか。それから、これは、過去大会でもよく言及されています通り、参加者数・発表数が小規模な学会ならではの寛げる雰囲気の魅力の一つに挙げられます。確かに、発表後の質疑応答や、インフォーマルな雑談を深めやすい印象があります。こうした雰囲気は、過去の大会を運営された先生方のご尽力で醸成されたものと思いますので、本大会でも皆さんの交流をサポートできるよう、運営を進めて参りたいと思います。

今回の大会では、常任理事会企画により、大坊郁夫先生に「対人関係のダイナミズムを研究することの魅力と学会の役割」というタイトルで特別講演をいただくことになりました。対人のプロセスを研究することの意味、また2025年の今ならではの学会の位置づけに大きな示唆をいただける機会になりそうです。



弘前の物理的な歩き方についてもご紹介しておきます。会場となる弘前大学、弘前駅、観光スポットの多い中心地（弘前城・土手町商店街）は、おおよそ三角形となる位置関係となっており、それぞれバスを使って移動すると10分程度、徒歩だと25分～30分程度の距離です。弘前城内には広い公園があり、ここからの岩木山の眺めは素晴らしいです（なお鉄路移動中の岩木山、青森空港から弘前駅までの空港バスから見える岩木山も綺麗です）。日本酒・海鮮料理が美味しく、ほか、趣のある建物が隠れた見所で、アップルパイ、喫茶店巡りなども楽しめます。大会の合間にはぜひ弘前市の魅力を満喫いただければと思います。



青森県での大会開催は今回が初めてとなります。会員の多くの皆様にとっては馴染みのない土地かもしれませんが、前回大会準備委員長の石黒先生が「推し」ているとおり、遠路足を運んでいただく価値があると思っています。この機会にぜひ青森の風土にも触れ、学会期間中充実した時間をお過ごしいただければ幸いです。

参加登録（事前登録）の締め切りは7月18日です。当日参加も受け付けております。今からでもぜひご参加を検討ください！準備委員一同、皆様とお会いできることを心より楽しみにしております。

大会関連情報

第71大会サイト < <https://jgda71th.vercel.app/> >

日本グループ・ダイナミックス学会
第71回大会
弘前大学 [対面開催]
2025.8.21 (Thu)・22 (Fri)



弘前大学が作った弘前市の紹介

<<https://www.hirosaki-u.ac.jp/wander-wonderful/index.html>>

弘前 × 弘大
WANDER WONDERFUL



4. 国際化支援

常任理事（渉外担当）石井敬子(名古屋大学)

国際学会発表支援・参加費支援制度

国際学会発表支援制度は、大学院生・若手の会員を対象に、日本国外で開催される国際学会での発表旅費の支援を毎年度行うものです。毎年7月末を応募締め切りとしていますが、申請締め切りの時点で発表予定の研究だけではなく、当該年度にすでに発表した研究も支援対象となります。また、他学会の支援制度との重複受給も可能です。ぜひご活用ください。

学会 HP : <http://www.groupdynamics.gr.jp/support.html>

国際化支援制度

国際化支援制度は、本学会会員の研究の国際化を支援するため、会員が自らの研究成果を英文誌に投稿する際に英文校閲代金の一部を補助するものです。年齢制限はありません。ぜひご活用ください。

学会 HP : http://www.groupdynamics.gr.jp/support_international.html

AASP 年会費特別割引について

日本グループ・ダイナミクス学会（JGDA）の会員を対象に、アジア社会心理学会（The Asian Association of Social Psychology; AASP）の年会費が割引かれます。昨年度と同様、通常であれば「45 オーストラリアドル（1年間）」または「85 オーストラリアドル（2年間）」ですが、JGDA 会員であれば、

- ・「35 オーストラリアドル／1年間（2025年度）」
- ・「60 オーストラリアドル／2年間（2025年度・2026年度）」

になります。

レートの変換や申し込みフォームの設定の準備ができましたら、グルダイフラッシュを通じてご連絡します。例年通り、10月末までの申し込みの予定です。なお、2025年7月10日～12日にはAASPの大会がマレーシア（モナッシュ大学）で開催予定です。

5. 機関誌「実験社会心理学研究」について

編集委員長 五十嵐祐（名古屋大学）

副編集委員長 橋本博文（大阪公立大学）

実験社会心理学研究の編集委員会は、この4月より新体制へと移行いたしました。もっとも、「論文の評価は読者に委ねられるべきものであり、その機会を構築することが編集に携わる者の責務である」との基本理念は、今後とも堅持してまいります。投稿者・査読者の皆様におかれましては、折にふれて「投稿論文の審査方針の明確化について」をご一読賜りますようお願い申し上げます。

第65巻第1号には、原著論文2本、Short Note 2本、書評2本を収載予定です。ご高覧いただければ幸いです。今後とも『実験社会心理学研究』を何卒よろしくお願い申し上げます。

一般投稿論文

原著論文

向井智哉、綿村英一郎 厳罰傾向に対して防犯情報の提示が及ぼす影響—空き巣を題材として—

湯山 祥、向井智哉 被害者との対話参加意欲を規定する過程の検討—犯罪加害者の立場を想定して—

Short Note

Ryulri Lee, Asako Miura Impact of task reward-manipulated personal relative deprivation on the discourse of self-responsibility toward the unemployed

Kaito Takashima, Asako Miura, Fumiya Yomemitsu, Kyoshiro Sasaki, Ayumi Ikeda, Yuki Yamada Does direct gaze during online meetings enhance the illusion of transparency?

上記論文はすべてJ-stageにて早期公開を行っております。

https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jjesp/advpub/0/_contents/-char/ja

書評

池田 浩 坂田桐子（著）『女性リーダーはなぜ少ないのか？—リーダーシップとジェンダー—』（2024年、ちとせプレス）

村瀬俊朗 山口裕幸（著）『新版 チームワークの心理学』（2024年、サイエンス社）

6. 事務局からのお知らせ

新役員挨拶

会長 三浦麻子（大阪大学） <挨拶本誌巻頭>

事務局長 村山 綾（立命館大学）

ぐるだいニュース 40号（2012年）に書かせていただいた大会参加記を、以下のように締めくくっております。「今後も集団研究に携わる一学会員として、皆様と協力しながら学会を盛り上げていくことができれば、と微力ながら心に決めた、思い出に残る大会でした。」-あいかわらず微力ではありますが、楽しく円滑なコミュニケーションの場を学会員の皆様に提供できるよう、事務局担当として尽力します。どうぞよろしくお願いいたします。

編集委員長 五十嵐 祐（名古屋大学）

機関誌「実験社会心理学研究」の編集委員長を務めさせていただきます。本誌は長年にわたり、日本における社会心理学・グループ・ダイナミクス領域の学術的発展を牽引してきました。よいところはしっかりと残しつつ、時代の流れも柔軟に取り入れながら、会員の皆様の研究活動をサポートできればと考えています。皆様からの投稿を心よりお待ちしております。

副編集委員長 橋本 博文（大阪公立大学）

思い入れのある実験社会心理学研究に、これまで以上に深く関わる機会をいただき、責任の重みと、それに勝るわくわくする気持ちを強く感じています。この気持ちを忘れず、与えられた役割を一つ一つ丁寧に担ってまいります。会員の皆様の積極的なご投稿を、心よりお待ちしております。

渉外担当 石井 敬子（名古屋大学）

当学会には、国際学会発表支援、および国際誌への投稿を促すための英文校閲代金に関する支援、およびアジア社会心理学会の年会費の特別割引があります。ぜひ積極的にご活用ください。また産学連携に向けた取り組みも行っていきます。微力ながら当学会のこれらの活動に引き続き取り組んでいきますので、よろしくお願いいたします。

大会担当 村上 史朗（奈良大学）

前期に引き続き、2年間大会・選挙担当を務めさせていただくことになりました。役割としては、大会関連の業務、特に、優秀学会発表賞の担当をしております。また、今期は役員選挙をオンライン投票に変更することを計画しております。大会・優秀学会発表賞も、役員選挙も会員の皆様の積極的な参加があって、活性化すると思います。どうぞよろしくお願いいたします。

広報担当 古谷 嘉一郎（関西大学）

2007年度から4年ほど西田公昭広報担当常任理事（当時）のお手伝いをさせていただいておりました。今度は、私が西田先生の立場になって広報担当としてお仕事をさせていただきます。広報は会員

同士をつなぐのみならず、会員と社会をつなぐ大切な役割を担っています。そのため、小さなことからコツコツとやっていきたいと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

会員異動

(2024年8月6日～2025年6月10日)

新入会員：18名

■正会員（一般）

田口 恵也 梁 庭昌 山下 玲子 横山 実紀

■正会員（学生）

秋元 涼之介 今川 裕太 上原 礼央奈 温 若寒 神庭 慎次
北 あかり 中村 沙椰 二宮 宗徳 原 平充 万 静怡
保毛 陽斗 Bottazzo Martina 山元 佑也 結城 愛

退会会員：33名

■正会員（一般）

安藤 孝敏 飯塚 由美 岡 隆 小川 史恵 小窪 輝吉
近藤 誠司 酒井 春樹 佐藤 舞 繁柊 江里 鈴木 雄大
竹西 正典 辻川 典文 寺岡 佐和 中丸 茂 中村 誠司
堀江 尚子 松本 美知子 水田 恵三 楊 凌煙 吉田 寿夫

■正会員（学生）

飯田 都 鵜子 修司 大西 祐輔 川角 公乃 木田 千裕
木村 真利子 塩治 玲奈 竹内（杉山）真純 立川 経康
西村 悠人 胡 安琪 馬目 蓉子 渡壁 政仁

7. 学会関係連絡先

本学会では、事務支局を中西印刷株式会社に開設しております。入退会、住所・所属等の変更、会費納入、機関誌等の未着・メールマガジンなどの配信先の登録・変更・停止等の連絡先として、事務支局である中西印刷株式会社までご連絡ください。

また、論文投稿先・審査書類送付先も中西印刷株式会社となっております。詳細は下記をご覧ください。各種お問い合わせの具体的な連絡先は以下の通りです。

事務支局【入退会、住所・所属等変更、その他お問い合わせ先】

日本グループ・ダイナミクス学会 事務支局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷(株)学会フォーラム内

TEL : 075-415-3661 FAX : 075-415-3662

E-mail : jgda@nacoss.com

学会運営・対外業務関連

日本グループ・ダイナミクス学会本部事務局

〒567-8570 大阪府茨木市岩倉町 2-15

立命館大学総合心理学部 村山綾研究室

E-mail : sec-general@groupdynamics.gr.jp

投稿論文・学会誌編集関連【論文投稿先・審査書類送付先】

日本グループ・ダイナミクス学会 編集事務局

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷(株)営業部編集校正課内

TEL : 075-441-3155 FAX : 075-417-2050

E-mail : jjesp-hen@groupdynamics.gr.jp

広報関連【ぐるだいニュースの編集・記事の投稿、メールマガジンへ記事投稿など】

〒569-2325 大阪府高槻市霊仙寺町 2-1-1

関西大学総合情報学部 古谷嘉一郎 研究室 (広報担当 常任理事)

E-mail : office@groupdynamics.gr.jp